

単元の指導計画（１）（６時間完了）

単元名 ３年「詩を味わおう」（「春に」谷川俊太郎／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	詩の表現技法の効果や詩における一つ一つの言葉の果たす役割を理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、一つ一つの言葉に込められた作者の思いについての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(一語一語の思いの込められた詩を読み、自分の考え伝え合う)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「これまで詩で学んだこと」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、詩の表現技法(擬人法・対句・隠喩・反復)の効果や詩における一つ一つの言葉の果たす役割を理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、表現技法(擬人法・対句・隠喩・反復)による効果や、表現技法以外(平仮名漢字の表記の工夫、言葉の選び方の工夫)の文章表現の効果を捉え、作品の主題についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、表現技法(擬人法・対句・隠喩・反復)による効果や表現技法以外(平仮名漢字の表記の工夫、言葉の選び方の工夫)の文章表現の効果を捉え、作品の主題についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、詩の表現技法(擬人法・対句・隠喩・反復)の効果、もしくは、詩における一つ一つの言葉の果たす役割について、理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、表現技法(擬人法・対句・隠喩・反復)による効果や表現技法以外(平仮名漢字の表記の工夫、言葉の選び方の工夫)の文章表現の効果を捉え、作品の主題についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、表現技法(擬人法・対句・隠喩・反復)による効果や表現技法以外(平仮名漢字の表記の工夫、言葉の選び方の工夫)の文章表現の効果を捉え、作品の主題についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		読みの交流1 ○ 「表現技法による効果」についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した表現技法についての自分の考えを付箋紙に記述する。 M	④					
		読みの交流2 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 M ○ 「表現技法以外の文章表現の効果」についての	⑤					

	<p>「読みの交流」を行う。</p> <p>○ 「読みの交流」で形成した作品の主題についての自分の考えを付箋紙に記述する。M</p>					
	<p>読みのまとめ</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「詩の表現技法の効果や詩における一つ一つの言葉の果たす役割」について、単元でどのような知識を身に付けたかを振り返る。RM</p>	⑥	方法	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート</p> <p>・付箋紙の記述内容</p>

単元の指導計画（2）（10 時間完了）

単元名 3年「ニュースの見出しを付けよう」（「月の起源を探る」小久保英一郎／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	自分の考えを分かりやすく簡潔に伝える工夫について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、自分の考えを分かりやすく簡潔に伝える工夫についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達のことを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(ニュースの見出しを書く)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「自分の考え分かりやすく簡潔に伝える工夫」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、見出しの表現の効果やわかりやすさを配慮した説明の順序などの文章構成の工夫について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、見出しの表現の効果やわかりやすさを配慮した説明の順序などの文章構成の工夫を捉え、自分の考えを簡潔に伝える工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、見出しの表現の効果やわかりやすさを配慮した説明の順序などの文章構成の工夫を捉え自分の考えを簡潔に伝える工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達のことを必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、見出しの表現の効果もしくはわかりやすさを配慮した説明の順序などの文章構成の工夫について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、見出しの表現の効果もしくはわかりやすさを配慮した説明の順序などの文章構成の工夫を捉え、自分の考えを簡潔に伝える工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で見出しの表現の効果もしくはわかりやすさを配慮した説明の順序などの文章構成の工夫を捉え、自分の考えを簡潔に伝える工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		読みの交流1 ○ 本文前半の見出しと内容の関わりについての「読みの交流」を行う。	④					
		読みの交流2 ○ 本文後半の見出しと内容の関わりについての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した「見出しと内容の関わりで最も重要だと考えること」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 M	⑤					

単元の指導計画（3）（11 時間完了）

単元名 3年「物語の設定に着目して書評を書こう」（「素顔同盟」すやまたけし／教育出版）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	場面や登場人物，語り手の設定が，読み手にどのような印象を与えるかを理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて，場面や登場人物，語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるかについての自分の考えを形成し，根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し，友達のを必要に応じて取り入れ，自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(物語の設定に着目して書評を書く)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「場面や登場人物，語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるか」についても既存の知識を振り返る。 ○ 「書評シート」に目を通し，書評がどんなものかを知り，学習の見通しを立てる。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて，場面や登場人物，語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるかを理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて，中心人物と対比人物の心情の変化や役割，象徴的なイメージをもつ言葉の工夫を捉え，場面や登場人物，語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるかについての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で，中心人物と対比人物の心情の変化，象徴的なイメージをもつ言葉の工夫を捉え，場面や登場人物，語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるかについての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して，友達の考えの根拠を捉えた上で，必要に応じてそれを取り入れ，自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み，友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて，場面設定，登場人物の設定，語り手の設定のいずれかについて，読み手にどのような印象を与えるかを理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて，中心人物と対比人物の心情の変化や役割，象徴的なイメージをもつ言葉の工夫のいずれかを捉え，場面や登場人物，語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるかについての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で中心人物と対比人物の心情の変化や役割，象徴的なイメージをもつ言葉の工夫のいずれかを捉え，場面や登場人物語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるかについての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して，必要に応じて友達の考えを取り入れ，自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流1 ○ 中心人物と対比人物の心情の変化や役割についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した『先生』や『女の子』の役割についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④				

	<p>読みの交流2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 象徴的なイメージをもつ言葉の工夫についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した「場面や登場人物、語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるか」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 	⑤				
	<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「場面や登場人物、語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるか」についてどのような知識を身に付けたかを振り返る。RM 	⑥	方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
考えを基に表現する場 拡散的思考を働かせる場面	<p>下書き</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M ○ 「素顔同盟」と同じく、場面や登場人物の設定、語り手の設定が特徴的な「生活維持省(星新一著)」を読む。 ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、「生活維持省」について、「中学生が読むべき作品と言えるか」というテーマで見解を示した書評の「下書き」をする。拡M 	⑦ ⑧	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や書評の推敲を通して、場面や登場人物、語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や書評の推敲を通して、場面や登場人物、語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるかについての考えを根拠として書評を書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や書評の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の書評を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	<p>意見交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や他者の書評の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M 	⑨	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や書評の推敲を通して、場面設定、登場人物の設定、語り手の設定のいずれかについて、読み手にど 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や書評の推敲を通して、場面設定、登場人物の設定、語り手の設定のいずれかについての考えを根拠として書評を 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や書評の推敲を通して、自分の書評を見直し、必要に応じて改善しようとしている。

	<p>収束的思考を働かせる場面</p>	<p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M</p> <p>清書</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。収M</p> <p>○ 書評の清書を行う。</p>	<p>⑩</p>	<p>のような印象を与えるかを理解している。</p>	<p>書いている。(書)</p>	
		<p>まとめの時間</p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。拡・収RM</p>	<p>⑪</p> <p>方法</p>	<p>・書評 ・足跡シート</p>	<p>・書評 ・足跡シート</p>	<p>・書評 ・足跡シート</p>

単元の指導計画（４）（10 時間完了）

単元名 3年「情報を基に自分の想いを伝えよう」

（「『想いのリレー』に加わろう」藤代 裕之／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	身の回りのメディアの特性や相手を不快にさせない文章の工夫を理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、これからのメディアと相手を納得させるための工夫についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(情報を基に自分の想いを意見文として伝える)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「身の回りのメディア」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、身の回りのメディアの特性や相手を不快にさせない文章の工夫を理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、相手を不快にさせずに納得してもらうための丁寧な文末表現などの文章表現や、課題を投げかけて終わるような結論の書き方などの文章構成の工夫を捉え、これからのメディアと相手を納得させるための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、相手を不快にさせずに納得してもらうための文章表現(丁寧な文末表現など)や文章構成の工夫(課題を投げかけて終わるような結論の書き方など)を捉え、これからのメディアと相手を納得させるための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、身の回りのメディアの特性、相手を不快にさせない文章の工夫のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、相手を不快にさせずに納得してもらうための丁寧な文末表現などの文章表現、もしくは、課題を投げかけて終わるような結論の書き方などの文章構成の工夫のいずれかを捉え、これからのメディアと相手を納得させるための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、相手を不快にさせずに納得してもらうための文章表現(丁寧な文末表現など)、もしくは、文章構成の工夫(課題を投げかけて終わるような結論の書き方など)のいずれかを捉え、これからのメディアと相手を納得させるための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友	
		読みの交流1 ○ 相手を不快にさせずに納得してもらうための文章表現の工夫についての「読みの交流」を行う。	④					
		読みの交流2 ○ 相手を不快にさせずに納得してもらうための文章構成の工夫について「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した「これからのメディアと相	⑤					

		手を納得させるための工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 M				達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みのまとめ ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「身の回りのメディアの特性や相手を不快にさせない文章の工夫」についてどのような知識を身に付けたかを振り返る。 RM	⑥	方法 ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
考えを基に表現する場	拡散的思考を働かせる場面	下書き ○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。 拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、「20年後のメディアの状況」もしくは「1年後の感染症の状況」というテーマで見解を示した意見文の「下書き」をする。 拡M ○ インターネットで得た情報やテレビ、新聞などで得た情報を意見の基とする。	⑦	A ○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、相手を不快にさせずに納得してもらうための文章の工夫について理解している。	○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、相手を不快にさせずに納得してもらうための文章表現(丁寧な文末表現など)、文章構成の工夫(課題を投げかけて終わるような結論の書き方など)についての考えを根拠として意見文を書いている。(書)	○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の意見文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
		意見交流 ○ 自分や他者の意見文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。 拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。 収M	⑧	B ○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、相手に納得してもらうための文章の工夫を理解している。	○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、相手を不快にさせずに納得してもらうための文章表現(丁寧な文末表現など)、もしくは、文章構成の工夫(課題を投げかけて終わるような結論の書き方など)のいずれかについての考えを根拠として意見文を書いている。(書)	○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、自分の意見文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	収束的思考を働かせる場面	清書 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 収M ○ 意見文の清書を行う。	⑨			

	<p>まとめの時間</p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。拡・収RM</p>	<p>⑩</p>	<p>方法</p> <p>・意見文 ・足跡シート</p>	<p>・意見文 ・足跡シート</p>	<p>・意見文 ・足跡シート</p>
--	---	----------	---	------------------------	------------------------

3年生 単元の指導計画（5）（12時間完了）

単元名 3年「物語の『語り』を批評しよう」（「故郷」魯迅 竹内好訳／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	語り手が対象に抱く心情や対象との関係性、語り対象の評価に及ぼす影響を理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、語り手が対象に抱く心情や対象との関係性、語り対象の評価に及ぼす影響についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(物語の語りに着目して「故郷」の語りをテーマにした批評文を書く)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「語り手が対象に抱く心情や対象との関係性、語り対象の評価に及ぼす影響」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、語り手が対象に抱く心情や対象との関係性、語り対象の評価に及ぼす影響を理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、情景や人物の行動・心情などの描写の工夫、語り手の視点や対象の語り方を捉え、語り手が対象に抱く心情や対象との関係性、語り対象の評価に及ぼす影響についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、情景や人物の行動・心情などの描写の工夫、語り手の視点や対象の語り方を捉え、語り手が対象に抱く心情や対象との関係性、語り対象の評価に及ぼす影響についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③ ④	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、語り手が対象に抱く心情や対象との関係性、語り対象の評価に及ぼす影響のいずれかについて、理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、情景や人物の行動・心情などの描写の工夫、語り手の視点や対象の語り方のいずれかを捉え、場面や登場人物、語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるかについての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で情景や人物の行動・心情などの描写の工夫、語り手の視点や対象の語り方のいずれかを捉え、場面や登場人物、語り手の設定が読み手にどのような印象を与えるかについての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		読みの交流1 ○ 語り手が情景をどのように語っているかについての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した「故郷の町に対する語り」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 M	⑤					
		読みの交流2 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達	⑥					

		<p>の考えと比較したり、関連付けたりする。【M】</p> <p>○ 語り手が自分自身をどのように語っているかについての「読みの交流」を行う。</p> <p>○ 「読みの交流」で形成した「自分自身に対する語り」についての自分の考えを付箋紙に記述する。【M】</p>				
		<p>読みの交流3</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。【M】</p> <p>○ 語り手が他の登場人物をどのように語っているかについての「読みの交流」を行う。</p> <p>○ 「読みの交流」で形成した「語り手が対象に抱く心情や対象との関係性、語り対象の評価に及ぼす影響」についての自分の考えを付箋紙に記述する。【M】</p>	⑦			
		<p>読みのまとめ</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。【M】</p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「語り手が対象に抱く心情や対象との関係性、語り対象の評価に及ぼす影響」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。【RM】</p>	⑧	<p>方法</p> <p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容</p>
<p>考えを基に表現する場面</p> <p>拡散的思考を働かせる場面</p>	<p>下書き</p> <p>○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。【拡M】</p> <p>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、『「故郷」を「私」視点で語ったことは適当であったのか』というテーマで見解を示した批評文の「下書き」をする。【拡M】</p>	⑨	A	<p>○ 「意見交流」や批評文の推敲を通して、語り手が対象に抱く心情や対象との関係性、語り対象の評価に及ぼす影響について理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や批評文の推敲を通して、『語り』に対する意見と、その根拠とする事実(自身の捉え)との対応を明確に示しているか」「具体的な『語り』の効果について捉えたことを基に、他の文学作品と比較するなどして『語り』についての一般化した意見</p>	<p>○ 「意見交流」や批評文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の批評文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>

収束的思考を働かせる場面	<p>意見交流</p> <p>○ 自分や他者の批評文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M</p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M</p>	⑩		を述べているか』『故郷』の語りが『私』視点であったことの利点や問題点について、根拠を明確にして述べているか」「接続詞や指示語の使い方、段落構成など、文章構成を工夫して自分の判断を明確に記述しているか」を全て踏まえて批評文を書いている。(書)	
	<p>清書</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。収M</p> <p>○ 批評文の清書を行う。</p>	⑪	B	○ 「意見交流」や批評文の推敲を通して、「語り」に対する意見と、その根拠とする事実(自身の捉え)との対応を明確に示しているか」「具体的な『語り』の効果について捉えたことを基に、他の文学作品と比較するなどして『語り』についての一般化した意見を述べているか』『故郷』の語りが『私』視点であったことの利点や問題点について、根拠を明確にして述べているか」「接続詞や指示語の使い方、段落構成など、文章構成を工夫して自分の判断を明確に記述しているか」のうち2～3点を踏まえて批評文を書いている。(書)	○ 「意見交流」や批評文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の批評文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	<p>まとめの時間</p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。拡・収RM</p>	⑫	方法	・批評文 ・足跡シート	・批評文 ・足跡シート

3年生 単元の指導計画(6) (11時間完了)

単元名 3年「古典から現代に通じる生き方を学び紹介しよう」

(「学びて時にこれを習ふー『論語』から」／光村図書)

(1) 単元の目標

知: 知識・技能 思: 思考・判断・表現 態: 主体的に学習に取り組む態度

知	「論語」についての基礎知識と漢文独特の言い回しを理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、現代の私たちにも通じる生き方についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして相手に伝えることができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話): 話すこと・聞くこと (書): 書くこと (読): 読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(古典から現代の私たちにも通じる生き方を学び、紹介する)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「漢文の基礎知識」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、「論語」についての基礎知識と漢文独特の言い回しを理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、文脈における語句の意味や孔子の人間の生き方についての観察や思索を捉え、現代の私たちにも通じる生き方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、文脈における語句の意味や孔子の人間の生き方についての観察や思索を捉え、現代の私たちにも通じる生き方についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、「論語」についての基礎知識と漢文独特の言い回しのいずれかを理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、文脈における語句の意味、孔子の人間の生き方についての観察や思索のいずれかを捉え、現代の私たちにも通じる生き方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で文脈における語句の意味、孔子の人間の生き方についての観察や思索のいずれかを捉え、現代の私たちにも通じる生き方についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		読みの交流1 ○ 文脈における語句の意味についての「読みの交流」を行う。	④					
		読みの交流2 ○ 孔子の人間の生き方についての観察や思索についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した「現代の私たちにも通じる生き方について」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	⑤					

		読みのまとめ ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、『論語』と孔子の考え方についてどのような知識を身に付けたかを振り返る。 RM	⑥	方法 ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容	
考えを基に表現する場	拡散的思考を働かせる場面	下書き ○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。 拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、「自分のお気に入りの論語の章句」というテーマで見解を示した紹介文の「下書き」をする。 拡M	⑦	A	○ 「意見交流」や紹介文の推敲を通して、「論語」についての基礎知識と漢文独特の言い回しについて理解している。	○ 「意見交流」や紹介文の推敲を通して、文脈における語句の意味や現代の私たちにも通じる生き方についての考えを根拠として紹介文を書いている。(書) ○ 清書した紹介文を相手に伝えることを意識して、「声の大きさ」「速さ」「正確さ」「緩急・強弱」「相手意識」を全て踏まえてスピーチしている。(話)	○ 「意見交流」や紹介文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の紹介文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
		意見交流 ○ 自分や他者の紹介文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。 拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。 収M	⑧	B	○ 「意見交流」や紹介文の推敲を通して、「論語」についての基礎知識と漢文独特の言い回しのいずれかについて、理解している。	○ 「意見交流」や紹介文の推敲を通して、文脈における語句の意味や現代の私たちにも通じる生き方のいずれかについての考えを根拠として紹介文を書いている。(書) ○ 清書した紹介文を相手に伝えることを意識して、「声の大きさ」「速さ」「正確さ」「緩急・強弱」「相手意識」のうち3～4点を踏まえてスピーチしている。(話)	○ 「意見交流」や紹介文の推敲を通して、自分の紹介文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	清書 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 収M ○ 紹介文の清書を行う。 ○ 清書した紹介文を相手に伝えることを意識して発表する。	⑨ ⑩					
		まとめの時間 ○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 拡・収RM	⑪	方法 ・紹介文 ・足跡シート	・発表内容 ・紹介文 ・足跡シート	・発表内容 ・紹介文 ・足跡シート	

3年生 単元の指導計画（7）（7時間完了）

単元名 3年「和歌の世界に触れよう」（「君待つと一万葉・古今・新古今」）／光村図書

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	万葉・古今・新古今のそれぞれの歌集の特徴や、和歌における語句の使い方、表現技法を理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、和歌に込められた思いや描かれた情景についての自分の考えを形成し根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(和歌に触れ、形成した自分の考えを伝え合う)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「和歌に関する基礎知識」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ 万葉集・古今集・新古今集の成立の背景やそれぞれの歌集の特徴を知る ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	① ②	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、万葉・古今・新古今のそれぞれの歌集の特徴や、和歌における語句の使い方、表現技法を理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、それぞれの歌集の時代背景や和歌における語句の使い方、表現技法を捉え、和歌に込められた思いや描かれた情景についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、それぞれの歌集の時代背景や和歌における語句の使い方、表現技法を捉え、和歌に込められた思いや描かれた情景についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ それぞれの和歌をイメージする漢字を選択肢から選び、理由とともに、「ひとり読みシート」自分の考えを記述する。 ○ 漢字を選んだ理由は、現代語訳、資料を参考に、それぞれの和歌の作者の思い、置かれた状況、見ている情景などを踏まえて書く。	③ ④	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、万葉・古今・新古今のそれぞれの歌集の特徴、もしくは、和歌における語句の使い方、表現技法のいずれかについて、理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、それぞれの歌集の時代背景や和歌における語句の使い方、表現技法のいずれかを捉え、和歌に込められた思いや描かれた情景についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」でそれぞれの歌集の時代背景や和歌における語句の使い方、表現技法のいずれかを捉え、和歌に込められた思いや描かれた情景についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流1 ○ 万葉集の和歌についての「読みの交流」を行う。	⑤				

<p>読みの交流2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 古今和歌集・新古今和歌集についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した「和歌に込められた思いや描かれた情景」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 	⑥				
<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「万葉・古今・新古今の特徴や和歌の語句や表現技法」について、単元を通してどのような知識を身に付けたかを振り返る。RM 	⑦	方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容

3年生 単元の指導計画（8）（11時間完了）

単元名 3年「意見文を書いて発表しよう」（「作られた『物語』を超えて」山極寿一／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	相手に自分の主張を納得してもらうための工夫を理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、相手に自分の主張を納得してもらうための工夫についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
主	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（「若者言葉の普及」について意見文を書いて発表する）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「相手に自分の主張を納得してもらうための工夫」についても既存の知識を振り返る。 ○ 論理の展開に着目することを説明し、論理の展開の仕方についての簡単なゲームをする。 ○ 若者言葉の資料に目を通し、言語活動について見通しをもつ。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、相手に自分の主張を納得してもらうための文章表現の工夫（語句の使い方）や、文章構成の工夫（論理の展開の仕方）を理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、主張を導き出すための語句の使い方などの文章表現の工夫や、論理の展開の仕方などの文章構成の工夫を捉え、相手に自分の主張を納得してもらうための工夫についての自分の考えを形成している。（読）	○ 「ひとり読み」で、主張を導き出すための文章表現の工夫（語句の使い方）、文章構成の工夫（論理の展開の仕方）を捉え、相手に自分の主張を納得してもらうための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、相手に自分の主張を納得してもらうための文章表現の工夫（語句の使い方）、もしくは、文章構成の工夫（論理の展開の仕方）を理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、主張を導き出すための語句の使い方などの文章表現の工夫、論理の展開の仕方などの文章構成の工夫のいずれかを捉え、相手に自分の主張を納得してもらうための工夫についての自分の考えを形成している。（読）	○ 「ひとり読み」で主張を導き出すための文章表現の工夫（語句の使い方）、文章構成の工夫（論理の展開の仕方）のいずれかを捉え、相手に自分の主張を納得してもらうための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流1 ○ 文章表現の工夫（語句の使い方）についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した「相手に自分の主張を納得してもらうための語句	④				

		の使い方」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 M					
		読みの交流2 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 M ○ 文章構成の工夫(論理の展開の仕方)についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した「相手に自分の主張を納得してもらうための論理展開」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 M	⑤				○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みのまとめ ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「相手に自分の主張を納得してもらうための工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。 RM	⑥	方法 ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容	
考えを基に表現する場	拡散的思考を働かせる場面	下書き ○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。 拡M ○ 若者言葉についての資料と「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、「若者言葉の普及について」というテーマで見解を示した意見文の「下書き」をする。 拡M	⑦	A ○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、相手に自分の主張を納得してもらうための文章表現の工夫(語句の使い方)や、文章構成の工夫(論理の展開の仕方)を理解している。	○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、「事例が意味づけられて主張が導かれているか」「用いている事例は主張を導くのに適切か」「論理の展開が分かりやすいように接続語を工夫しているか」「相手に分かりやすい語句を用いているか(分かりにくい語句を解説しているか)」を全て踏まえて意見文を書いている。(書) ○ 清書した意見文を相手に伝えることを意識して、「声の大きさ」「速さ」「正確さ」「緩急・強弱」「相手意識」を全て踏まえてスピーチしている。(話)	○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の意見文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。	
		意見交流 ○ 自分や他者の意見文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。 拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記	⑧				

収束的思考を働かせる場面	述する。 収M 清書 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 収M ○ 意見文の清書を行う。 ○ 清書した意見文を相手に伝えることを意識して発表する。	⑨ ⑩	B ○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、相手に自分の主張を納得してもらおうための文章表現の工夫（語句の使い方）、もしくは文章構成の工夫（論理の展開の仕方）のいずれかを理解している。	○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、以下の「事例が意味づけられて主張が導かれているか」「用いている事例は主張を導くのに適切か」「論理の展開が分かりやすいように接続語を工夫しているか」「相手に分かりやすい語句を用いているか（分かりにくい語句を解説しているか）」のうち2～3点を踏まえて意見文を書いている。（書） ○ 清書した意見文を相手に伝えることを意識して、「声の大きさ」「速さ」「正確さ」「緩急・強弱」「相手意識」のうち3～4点を踏まえてスピーチしている。（話）	○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、自分の意見文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	まとめの時間 ○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 拡・収RM	⑪	方法 ・意見文 ・足跡シート	・発表内容 ・意見文 ・足跡シート	・発表内容 ・意見文 ・足跡シート

単元の指導計画（9）（6時間完了）

単元名 3年「文語定型詩を味わおう」（「初恋」島崎藤村／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	文語定型詩特有の表現やリズムを理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、詩の中の語句の効果的な使い方や表現上の特徴についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」に意欲的に参加し、友達のを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(文語定型詩を読み、形成した自分の考え伝え合う)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「これまで詩で学んだこと」についても既存の知識を振り返る。 ○ 詩に関する印象について『詩ってなんだろう』谷川俊太郎を用いて話し合う。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、文語定型詩特有の表現やリズムを理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、詩の中の登場人物の心情や関係性を捉え、詩の中の語句の効果的な使い方や表現上の特徴についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、詩の中の登場人物の心情や関係性を捉え、詩の中の語句の効果的な使い方や表現上の特徴についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達のを根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、文語定型詩特有の表現もしくはリズムのいずれかについて、理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、詩の中の登場人物の心情もしくは関係性のいずれかを捉え、詩の中の語句の効果的な使い方や表現上の特徴についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で詩の中の登場人物の心情もしくは関係性のいずれかを捉え、詩の中の語句の効果的な使い方や表現上の特徴についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流1 ○ 「詩の中の登場人物の関係性について」の「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した『われ』と『君』の関係性についての自分の考えを付箋紙に記述する。 M	④				

	<p>読みの交流2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み,友達の考えと比較したり, 関連付けたりする。M ○ 詩の中の登場人物の心情についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した「詩の中の語句の効果的な使い方や象徴表現などの表現上の特徴」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 	⑤				
	<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み,友達の考えと比較したり, 関連付けたりする。M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ, 「文語定型詩特有の表現やリズム」について, 単元でどのような知識を身に付けたかを振り返る。RM 	⑥	方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容

単元の指導計画（10）（11 時間完了）

単元名 3年「心に響く俳句を作ろう」（「俳句の可能性」宇多喜代子／光村書店）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	俳句の成立の過程や基礎知識を理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、心に響く言葉の選び方についての自分の考えを形成し、俳句にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(心に響く言葉を選んで俳句を作る)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「俳句」についての既存の知識を振り返る。 ○ 『『おくのほそ道』松尾芭蕉』に触れ、俳句の成立の過程を知る。 ○ 季語や切れ字などの俳句の基礎知識を知る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	① ②	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、「おくのほそ道」の概要を含めた俳句の成立の過程や基礎知識を理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、俳句における情景・場面・心情・状況を想像させる言葉や気持ちを暗示した言葉を捉え、簡潔な表現の中での心に響く言葉の選び方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、俳句における情景・場面・心情・状況を想像させる言葉や気持ちを暗示した言葉を捉え、簡潔な表現の中での心に響く言葉の選び方についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 近現代の俳句を読み、俳句の中の言葉が示す内容や働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	③ ④	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、俳句の成立の過程や基礎知識について、理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、俳句における情景・場面・心情・状況を想像させる言葉や気持ちを暗示した言葉のいずれかを捉え、簡潔な表現の中での心に響く言葉の選び方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で俳句における情景・場面・心情・状況を想像させる言葉や気持ちを暗示した言葉のいずれかを捉え、簡潔な表現の中での心に響く言葉の選び方についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		読みの交流1 ○ 情景・場面・心情・状況を想像させる言葉についての「読みの交流」を行う。	⑤					
		読みの交流2 ○ 気持ちを暗示した言葉についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で形成した「心に響く言葉の選び	⑥					

		方]についての自分の考えを付箋紙に記述する。 M				
		読みのまとめ ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「俳句」と心に響く言葉の選び方についてどのような知識を身に付けたかを振り返る。 RM	⑦	方法 ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
考えを基に表現する場	拡散的思考を働かせる場面	下書き ○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。 拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、「附中生活を振り返って」というテーマで俳句の「下書き」をする。 拡M	⑧	A ○ 「意見交流」や俳句の推敲を通して、俳句についての基礎知識と簡潔な表現の中での心に響く言葉の選び方について理解している。	○ 「意見交流」や俳句の推敲を通して、俳句についての基礎知識と簡潔な表現の中での心に響く言葉の選び方についての考えを根拠として俳句を作っている。(書)	○ 「意見交流」や俳句の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の俳句を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
		意見交流 ○ 自分や他者の俳句の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。 拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。 収M	⑨	B ○ 「意見交流」や俳句の推敲を通して、俳句についての基礎知識と簡潔な表現の中での心に響く言葉の選び方のいずれかについて、理解している。	○ 「意見交流」や俳句の推敲を通して、簡潔な表現の中での心に響く言葉の選び方についての考えを根拠として俳句を作っている。(書)	○ 「意見交流」や俳句の推敲を通して、自分の俳句を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	清書 ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 収M ○ 俳句の清書を行う。	⑩				
	収束的思考を働かせる場面	まとめの時間 ○ 前時に清書した俳句の交流を行う。 ○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 拡・収RM	⑪	方法 ・俳句 ・足跡シート	・俳句 ・足跡シート	・俳句 ・足跡シート

単元の指導計画（11）（10 時間完了）

単元名 3年「自分の思いが伝わる文章を書こう」

（「花を贈る」鷲田清一/教育出版 「誰かの代わりに」鷲田清一/光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	自分の思いを読み手に伝えるための文章表現や文章構成の工夫について、理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、自分の思いを読み手に伝える工夫についての自分の考えを形成し根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(自分の思いが伝わる文章を書く)を知る。 ○ 今までの学習(物語・論説などの文章の種類など)を振り返り、「自分の思いを読み手に伝える工夫」についても既存の知識を振り返る。 ○ 「花を贈る」「誰かの代わりに」全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、読者に語りかけ、問いかけるような文章表現や具体的な事例を効果的に提示・引用するなどの文章構成の工夫について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、読者に語りかけ、問いかけるような文章表現や具体的な事例を効果的に提示・引用するなどの文章構成の工夫を捉え、自分の思いを読み手に説得力をもって伝えるための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、本文中の読者に語りかけ、問いかけるような文章表現や具体的な事例を効果的に提示・引用するなどの文章構成の工夫を捉え、自分の思いを読み手に説得力をもって伝える工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、読者に語りかけ、問いかけるような文章表現もしくは具体的な事例を効果的に提示・引用するなどの文章構成の工夫について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、読者に語りかけ、問いかけるような文章表現もしくは具体的な事例を効果的に提示・引用するなどの文章構成の工夫を捉え、自分の思いを読み手に説得力をもって伝えるための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、本文中の読者に語りかけ、問いかけるような文章表現もしくは具体的な事例を効果的に提示・引用するなどの文章構成の工夫を捉え、自分の思いを読み手に説得力をもって伝える工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		読みの交流1 ○ 筆者の思いを読み手に伝える文章表現の工夫についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「筆者の思いを読み手に伝える文章表現の工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④				

	<p>読みの交流2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 筆者の思いを読み手に伝える文章構成の工夫についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「筆者の思いを読み手に伝える文章構成の工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M 	⑤				
	<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「自分の思いを読み手に伝える工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM 	⑥	方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
<p>考えを基に表現する場</p>	<p>下書き</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、手紙の「下書き」をする。拡M 	⑦	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や手紙の推敲を通して、手紙の文章表現や文章構成の工夫について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や手紙の推敲を通して、手紙の文章表現や文章構成の工夫を用いて見出しを書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や手紙の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の見出しを見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	<p>意見交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や他者の手紙の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M 	⑧	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や手紙の推敲を通して、手紙の文章表現もしくは文章構成の工夫について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や手紙の推敲を通して、手紙の文章表現もしくは文章構成の工夫を用いて見出しを書いている。(書) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「意見交流」や手紙の推敲を通して、自分の手紙を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
<p>収束的思考を働かせる場面</p>	<p>清書</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分 	⑨				

	<p>の考えを表現し直す。収</p> <p>M</p> <p>○ 手紙の清書を行う。</p>	<p>方 法</p>	<p>・手紙 ・足跡シート</p>	<p>・手紙 ・足跡シート</p>	<p>・手紙 ・足跡シート</p>
	<p>まとめの時間</p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元⑩ でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。収RM</p>				